

岸和田市交通まちづくりアクションプラン
令和 7 年度進捗状況

地域公共交通計画編

令和 8 年度第 1 回岸和田市地域公共交通協議会
令和 8 年 6 月 17 日（水）

岸ま交第 173 号

令和8年3月 16 日

関係各機関所属長 様

岸和田市まちづくり推進部
交通まちづくり課長

岸和田市交通まちづくりアクションプランの施策進捗管理について（照会）

平素は、本市の交通政策施策の推進にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

みだしのことについて、令和7年度の各関係機関での取り組み状況を別紙「交通まちづくりアクションプラン施策事業状況報告書」にてご回答をお願い致します。

※後日、別途個別にヒアリングをさせていただく可能性があります。

記

1. 回答期限 令和8年4月20日（月）
2. 回答方法 別紙回答シートによりメールでご回答ください
3. 添付資料 各計画の「交通まちづくりアクションプラン施策事業状況報告書」

【岸和田市交通まちづくりアクションプラン】

<https://www.city.kishiwada.lg.jp/page/129-action-plan-5hen-sakutei.html>

問合せ先
岸和田市
まちづくり推進部交通まちづくり課
担当：西村、公文
電話：072-423-9656

< 照会先一覧 >

庁内	企画課
	自治振興課
	総務管財課
	生涯学習課
	都市整備課
	道路整備課
	建設管理課
	スポーツ振興課
	学校管理課
	環境保全課
	観光課
	産業振興課
	農林水産課
庁外	公営競技事業所
	西日本旅客鉄道(株)
	南海電気鉄道(株)
	南海ウイングバス(株)
	岸和田交通(株)
	岸和田警察
	岸和田土木事務所
	平成エンタープライズ

4. 目標達成に必要な施策

(1) 施策の体系

目標①
多様な世代の移動ニーズに対応した利用しやすい公共交通サービスの提供

施策① 公共交通ネットワークの再編

施策② 路線バスのダイヤ改正・利便性向上

施策③ ローズバス*のダイヤ改正・利便性向上

施策④ バス等の乗り継ぎ利便性等を高める交通系ICカード*の普及促進

施策⑤ 新たなモビリティサービスの活用に向けた検討・導入

目標②
拠点機能向上と持続可能なまちづくりを支援する環境に配慮した公共交通環境の形成

施策⑥ 交通結節点等の整備等による乗継の機能強化

施策⑦ 公共交通情報の充実

施策⑧ 移動環境におけるバリアフリー化の推進

施策⑨ 鉄道路線間の連携

目標③
市内外の交流の活発化による住みやすく、訪れて楽しいまちを支援する公共交通体系の構築

施策⑩ 都市計画道路泉州山手線等の道路整備の推進

施策⑪ 高速バスの利便性向上

施策⑫ 来訪者にとっても利用しやすい公共交通情報の充実

目標④
市民・交通事業者・行政によるつくり・支え合う持続可能な公共交通の整備

施策⑬ 地域住民主体による持続可能な運行を支える協働の取組み

施策⑭ バス・タクシー乗務員の確保・支援

(2) 実施スケジュール

基本理念	目標	施策	実施主体				実施スケジュール		
			市民	事業者	市	関係機関	第1期 R5(2023) ～R8(2026)	第2期 R9(2027) ～R12(2030)	第3期 R13(2031) ～R16(2034)
元気に生活・活動し、安全・快適に移動ができる交通インフラの形成	目標① 多様な世代の移動ニーズに対応した利用しやすい公共交通サービスの提供	① 公共交通ネットワークの再編		○	○		拠点形成に合わせた再編	継続	継続
		② 路線バスのダイヤ改正・利便性向上		○	○		人流実態に合わせて実施	人流実態に合わせて実施	人流実態に合わせて実施
		③ ローズバスのダイヤ改正・利便性向上		○	○		ローズバスの改正	必要に応じて改正	必要に応じて改正
		④ バス等の乗り継ぎ利便性等を高める交通系ICカードの普及促進		○	○		普及促進の実施	脱磁気化への検証・改善・実施	継続
		⑤ 新たなモビリティサービスの活用に向けた検討・導入		○	○		事業者との検討・導入	継続	継続
	目標② 拠点機能向上と持続可能なまちづくりを支援する環境に配慮した公共交通環境の形成	⑥ 交通結節点等の整備等による乗継の機能強化		○	○		JR久米田駅前東側駅前交通広場整備ほかサイクル&バスライドバスまちスポット	拠点における交通結節点整備 サイクル&バスライドバスまちスポット	継続
		⑦ 公共交通情報の充実		○	○		バスマップ等の充実	継続	継続
		⑧ 移動環境におけるバリアフリー化の推進		○	○	○	バス・バリアフリー検討 鉄道トイレの改善	移動環境におけるバリアフリー化の推進	継続
		⑨ 鉄道路線間の連携		○			人流実態に合わせて実施	継続	継続
		⑩ 都市計画道路泉州山手線等の道路整備の推進		○	○	○	(都)泉州山手線事業推進	継続	継続
	目標③ 市内外の交流の活発化による住みやすく、訪れて楽しいまちを支援する公共交通体系の構築	⑪ 高速バスの利便性向上		○			路線の拡充に向けた検討	検討に基づく取組み	継続
		⑫ 来訪者にとっても利用しやすい公共交通情報の充実		○	○	○	スマホ活用の検討	公共交通情報の充実	継続
	目標④ 市民・交通事業者・行政によるつくり・支え合う持続可能な公共交通の整備	⑬ 地域住民主体による持続可能な運行を支える協働の取組み	○	○	○	○	自発的な公共交通の利用促進手法の検討	自発的な公共交通の利用促進手法の実践	継続
		⑭ バス・タクシー乗務員の確保・支援	○	○	○		既存活用研究	相乗タクシーの事例効果調査	相乗タクシー導入検討

岸和田市交通まちづくりアクションプラン地域公共交通計画編 目標①の達成状況一覧表

基本理念:元気に生活・活動し、安全・快適に移動ができる交通インフラの形成

目標① 多様な世代の移動ニーズに対応した利用しやすい公共交通サービスの提供

施策	実施主体				令和7年度の実施計画		R7年度の実施状況	評価 (○△ー)	令和8年度の計画・目標	今後の 方向性	重点 施策
	市民	事業者	市	関係 機関	取組	実施計画・目標等					
① 公共交通ネットワークの再編		○	○		・広域連携軸の整備や拠点の形成	・組合設立と合わせたまちづくり調査・検討	【市】 ・広域連携軸(泉州山手線)の整備や拠点の形成に合わせた広域交流拠点「山直東」地区東側の整備を進めるための「区画整理組合」を設立	○	・組合事業と合わせたまちづくりの調査・検討 ・拠点形成に合わせた広域連携軸の検討	継続	★
					・公共交通ネットワークの再編	・路線バスの再編 ・ローズバスの再編	※下記の②を参照 ※下記の③を参照				
② 路線バスのダイヤ改正・利便性向上		○	○	○	・利便性向上に向けたダイヤ改正	・利便性向上に向けたダイヤ編成	【事業者】 ・日中時間帯において、おおよそパターンダイヤを導入	○		継続	
					・利用者ニーズに応じた路線再編の検討・実施	・市内路線バスの乗込み調査を実施し、利用状況の把握に努めるとともに、今後の公共交通のあり方について検討する。	【市】 ・市内路線バスの乗込み調査を実施。	○	・市内路線バスの利用状況調査を実施し、バス路線の維持に努めるとともに利用者ニーズに応じた交通モードの検討を図る		
					・地域間幹線系統、地域内フィーダー系統の確保・維持	・地域公共交通確保維持改善事業の活用	【市】【その他関係機関】 ・路線の維持負担軽減のため、地域間幹線系統について岸和田市交通まちづくりアクションプランへの位置付けを行い、地域公共交通確保維持改善事業を申請。	○	・地域公共交通確保維持改善事業の活用		
③ ローズバスのダイヤ改正・利便性向上		○	○		・ローズバスのルート再編	・令和7年10月上旬を目途に両周りのルート改訂を行う。	【市】【事業者】 ・令和7年10月にルート改定を実施	○	・ルート改定後の乗込み調査を実施し、利用状況の把握に努める。	継続	★
④ バス等の乗り継ぎ利便性等を高める交通系ICカードの普及促進		○	○		・交通系ICカード利用による割引制度の普及促進	・利便性向上に向けた非対面販売の強化 ・交通系 IC カードの普及促進およびバス乗継割引サービスの周知	【市】 ・ローズバスパンフレットにて取組みを周知 【事業者】 ・東岸和田駅で実施 ・交通系ICカード(ICOCA、Pitapa等)の周知を実施し普及促進に努めた	○	・広報やHP、パンフレット等にてICカードの利用や割引について周知を行う。	継続	
⑤ 新たなモビリティサービスの活用に向けた検討・導入		○	○		・先進技術や新たなモビリティ等の活用に向けた検討	・自動運転車両導入へ向けた実証実験を実施	【市】 自動運転車両導入に向けた実証実験を実施するとともに、今後のロードマップを作成。また、実証実験において、モビリティポートの活用促進を図る。	○	・交通分野と連携する他分野との連携 ・本格実装に向けた課題整理及び解決手段の検討	継続	★
					・岸和田市スマートシティ構想との連携	・岸和田市スマートシティ推進協議会の各種WG及び協議会に出席	【市】 ・岸和田市スマートシティ推進協議会の各種WG及び協議会に出席	○	・岸和田市スマートシティ推進協議会の各種WG及び協議会に出席		
					・スマートシティの実現に向けた取組の推進	・事業者と協議し、シェアサイクルポートの拡大を図る。	【市】 ・市内33か所にシェアサイクルのポートを設置	○	・事業者と連携し、シェアサイクルポートの拡大を図る		
					・他分野との輸送サービスの連携に向けた検討	・地域主体の生活交通導入に係るガイドラインの作成、及び実証運行の実施に向けた関係者協議を開催	【市】 ・地域主体の生活交通導入に係るガイドラインを作成し、市内町会に向けて事業を周知	○	・地域主体の生活交通の実証運行の実施を支援する		

○:実施 △:一部進捗あり ー:進捗無し

★:岸和田市総合計画重点目標施策

岸和田市交通まちづくりアクションプラン地域公共交通計画編 目標②・③の達成状況一覧表

基本理念:元気に生活・活動し、安全・快適に移動ができる交通インフラの形成

目標② 拠点機能向上と持続可能なまちづくりを支援する環境に配慮した公共交通環境の形成

施策		実施主体				令和7年度の実施計画		R7年度の実組状況	評価 (○△ー)	令和8年度の計画・目標	今後の 方向性	重点 施策
		市民	事業者	市	関係 機関	取組	実施計画・目標等					
⑥	交通結節点等の整備等による乗継の機能強化		○	○		・駅前広場の整備推進	・JR久米田駅前東側交通広場の整備推進	【市】 ・駅前広場整備推進に向けたJR久米田駅前東側の用地取得	○	・駅前広場整備推進に向けたJR久米田駅前東側の用地取得	継続	★
						・拠点における都市交通施設の整備	・泉州山手線設計の進捗とまちづくりの連携に係る調査・検討	【市】 ・泉州山手線詳細設計着手(府事業)	○	・泉州山手線詳細設計の進捗とまちづくりの連携に係る調査・検討		
						・サイクル&バスライド環境の整備	・バス待ちスペースの新規協力店舗の獲得を図る	【市】 ・新たに市内3か所の事業者と協力いただき設置	○	・バス待ちスペースの新規協力店舗の獲得を図る		
⑦	公共交通情報の充実		○	○		・ローズバスマップ等の作成	・ローズバスのルート改訂に伴い、パンフレットを作成・配布する。	【市】【事業者】 ローズバスのルート改訂に伴い、パンフレットを作成し、庁内および関係機関へ配布・配架。	○	・利用者への周知の継続	継続	
						・スマートフォンアプリ等による情報提供の周知	・スマートフォンアプリ等による情報提供(Bus-Vision for南海バス株の活用)の周知を実施(R5)	【事業者】	○			
						・スマートフォンアプリ等を活用した情報提供	・バス停でのバス位置情報の提供	【市】【事業者】 ・愛彩ランドおよび市民病院にてデジタルサイネージを活用した情報の提供 【事業者】 ・路線バス停留所の時刻表にバスロケーションシステムのQRコードを掲示(R5)	○			
⑧	移動環境におけるバリアフリー化の推進		○	○	○	・交通バリアフリー化の取組推進	・ノンステップバスで走行できるよう改修が必要な箇所について、現地確認を行う。 ・ユニバーサルデザインタクシーの導入を検討する。	【事業者】 ・路線バスへのノンステップバス導入に向けて現地確認を実施し、改修が必要な箇所を確認した。 ・ユニバーサルデザインタクシー導入にあたり、国へ補助金の交付申請を実施	△	・ノンステップバスで走行できない箇所の確認・整備 ・補助金を活用し、ユニバーサルデザインタクシーの導入を図る	継続	
⑨	鉄道路線間の連携		○			・南海本線とJR阪和線間を結ぶバス路線の機能強化	・利便性向上に向けたダイヤ検討	【事業者】 ・お客さまが利用しやすいダイヤの検討・実施	○	・利便性向上に向けたダイヤ検討	継続	

○:実施 △:一部進捗あり ー:進捗無し

★:岸和田市総合計画重点目標施策

目標③ 市内外の交流の活発化による住みやすく、訪れて楽しいまちを支援する公共交通体系の構築

施策		実施主体				令和7年度の実施計画		R7年度の実組状況	評価 (○△ー)	令和8年度の計画・目標	今後の 方向性	重点 施策
		市民	事業者	市	関係 機関	取組	実施計画・目標等					
⑩	都市計画道路泉州山手線等の道路整備の推進		○	○	○	・都市計画道路泉州山手線の道路整備による新たな広域連携軸の機能強化	・泉州山手線に係る境界確定作業及び要望活動の継続	【市】 ・境界測量に係る押印取得、泉山協議会(3市1町)要望書提出	○	・泉州山手線に係る境界確定作業及び要望活動の継続	継続	★
						・泉北高速鉄道と泉中央駅からの延伸促進	・関係機関と協議を継続	【市】 ・様々な交通モードの可能性を模索するとともに、関係者と公共交通のあり方について協議。	○	・様々な交通モードの可能性を模索するとともに、関係者協議を実施する。		
⑪	高速バスの利便性向上		○			・高速バス路線等の拡充検討	・岸和田-東京・川崎・横浜駅への高速バス運行を継続	【事業者】 ・岸和田-東京・川崎・横浜駅への高速バス運行中 ・四国、北陸方面の高速バスは運休中	△	・岸和田-東京・川崎・横浜駅への高速バス運行を継続	継続	
⑫	来訪者にとっても利用しやすい公共交通情報の充実		○	○	○	・来訪者も利用可能な企画乗車券等の導入	・スマートフォンアプリを活用した定期券の販売を促進するため、周知を行う。	【事業者】 ・定期券購入者への周知を実施 2026年3月31日岸和田駅前有人窓口を閉鎖	○	・スマートフォンアプリを活用した定期券について、周知を継続	継続	

○:実施 △:一部進捗あり ー:進捗無し

★:岸和田市総合計画重点目標施策

岸和田市交通まちづくりアクションプラン地域公共交通計画編 目標④の達成状況一覧表

基本理念:元気に生活・活動し、安全・快適に移動ができる交通インフラの形成

目標④ 市民・交通事業者・行政によるつくり・支え合う持続可能な公共交通の整備

施策		実施主体				令和7年度の実施計画		R7年度の実組状況	評価 (○△ー)	令和8年度の計画・目標	今後の 方向性	重点 施策
		市民	事業者	市	関係 その他 機関	取組	実施計画・目標等					
⑬	地域住民主体による持続可能な運行を支える協働の取組	○	○	○	○	・地域主体のあり方検討や交通手段導入サポート体制の構築	・地域主体の生活交通について協議を行う分科会制度の導入を図る	「地域生活交通検討分科会」を導入。黄金塚地区と春木大芝地区で分科会を設置し、協議を実施した。	○	・実証運行を含む進捗に応じて分科会を開催し、地域の課題解決を支援する	継続	★
						・自発的な公共交通利用の促進	・路線バスやローズバスのイベントにあわせて効果的な公共交通利用促進策等の情報を提供する。	【市】【事業者】 ・路線バス無料デーのチラシに効果的な公共交通利用の情報を掲載	○	・路線バスやローズバスのイベントにあわせて効果的な公共交通利用促進策等の情報を提供する。		
						・地域主体による持続可能な地域バスや乗合タクシー等の導入検討	・地域主体の生活交通について協議を行う分科会制度の導入を図る	上記⑬を参照				
⑭	バス・タクシー乗務員の確保・支援	○	○	○		・交通事業者との連携による乗務員確保の取組	・バス・タクシー乗務員の確保へ向けた体験会等の実施および免許取得支援	【事業者】 ・南海バスとウイングバス共同で運転体験会を12回実施 ・自社ホームページ等で乗務員募集 ・普通自動車第二種免許取得費用会社負担 【市】 ・市ホームページにて南海バス、南海ウイングバス株式会社の運転体験会案内ページを掲載	○	・バス・タクシー乗務員の確保へ向けた体験会等の実施および免許取得支援	継続	

○:実施 △:一部進捗あり ー:進捗無し

★:岸和田市総合計画重点目標施策